

昨年末に日本マーケティング学会の西川英彦会長（法政大学経営学部教授）に声をかけていただき、同学会が発行するマーケティングに関する研究者と実務者向けの季刊誌「マーケティングジャーナル」に「AIの創造性寄与」をテーマにした論文を寄稿した。

論文の要旨は、生成AIが人の創造性にどのように貢献するかについて研究を行ったもので、マーケティング、心理学、認知科学における創造性研究レビューを行い、創造プロセスを考察した上で、生成AIの仕組みとの類似性から仮説を構築した。

特に、生成AIが経験年数の短いデザイナーの創造性を向上させることが発見できたことは面白い。

■商品開発のプロセスを革新
もちろん、AIがコストダウンを図るためのツールとしても大変高い効果を発揮することは、プラグの「パッケージデザインAI」を導入している企業が示している。このツールによって、商品開発のプロセスは劇的に変わった。

「パッケージデザインAI」は、1000万人以上の学習データと東京大学・山崎研究室との共同研究で作られた商品デザインに対する消費者の評価を予測するAIで、客観的な指標で結果を出せる。結果表示までわずか10秒しかかからない。今までの時間とコストを大幅に削減し、デザイナーの好意度スコア、さらには性別・年代別の評価も見ることが可能だ。また画像をアップロードするだけで注視される箇所をヒートマップにした出力が得られる。

プラグ代表取締役社長 小川亮氏 インタビュー詳細

AI活用はトップダウンで推進

画像のアップロードと必要な項目を選択することによって、すぐに予測スコアとグラフが表示される。画像を消費者に見せないのがデザイン案が外部に漏洩するリスクが減る。さらに、情報漏洩防止のため、一カ月たつと画像は消去される。

月額プランなら何度でもデザイン案の評価を利用できる。いままでの消費者調査では時間や費用の制約から回数に限界があった仮説検証を何度も繰り返すことができるので、完成度の高いデザインの作成が可能だ。

さらに、今春にリリース予定の画像生成AIを使ったデザインサービスによって、テキストを入れるだけで商品パ

ン作成は、クライアントの依頼があって、デザイナーが制作する。2〜3週間の期間をもらい、10〜20案のデザインを提案する。その打ち返しをもらって、意見や要望を取り入れてデザインを再考していた。

新サービスの画像生成AIを活用したパッケージデザイン開発では、クライアントの依頼が来たら、まず、AIで大量のデザイン案をつくる。3日後には数十のデザイン案を提案できる。イラストの描き起こしなど、人間が行うと時間がかかる作業も、AIならすくすくできてしまうので、大量のデザインの創出が可能になる。

提案したその場で、クライ

学が意味

日本企業が生産性向上を実現するためには、トップダウンでAIを取り入れていくしかない。AIを活用すれば、間違いなく生産性は向上する。しかし、そのことによって、ホワイトカラーは仕事がなくなることを懸念するのは、DXを実現するには、ポトムアップでは難しいだろう。

例えば、自社の経理部にAIを活用した業務改革を指示した場合、エクセルで行っていた仕事をAIに変えることによって、100倍のスピードで処理ができるようになっていく。それは人の仕事をAIに置き換えただけで、DXの意味するトランスフォーメーションは実現していない。

少子高齢化がさらに進み、生産年齢人口が減っていく中で、AIを使った仕事の効率化は欠かせないが、AIの発展は、そんな生易しいスピードではなく、一気にやってくる。トランスフォーメーションとは仕事の進め方を組織を超えて劇的に変革することであり、ポトムアップで実現することは難しい。

経営者があるべき姿を示す必要性

パッケージを迅速につくることが可能になる。

アントの意見を反映したデザイン案をAIで示すこともできる。短時間で大量のアイデアが出てくるので、デザイン開発の初期から、具体的なデザインを見ながら、デザイナーとクライアントがすり合わせをすることが可能になり、合意形成がスムーズになる。

今、このようなインパクトがある技術が目前にある時に、経営者は、いち早くそれを取り入れることが重要になる。他社に先駆けてそれをやれば、同じ価格で売っても、利益は格段に上がる。どうしたら新しい価値を生み出すことができるのか、AIに代替した分、社員に何をしたらいいのかといったことも含めて、あるべき姿を描かなければならない。

リーダーが「AIを使って変革しろ」「イノベーションを起せ」と号令をかけるだけでは、組織は動かない。しっかりと

規模の小さい新興企業であれば、AIが起す変化を先取りし、スピード感を持って吸収すれば、売上高を3倍、5倍に伸ばすことも可能かもしれない。

トップの舵取りが極めて重要になっている局面であり、AIを前提にした変革の青写真をつくる作業を急ぐ必要がある。証券業界は、インターネットの登場から20年が経ち、新興のネット証券が既存の大手証券会社の牙城を侵食している。AIでも、様々なマーケットを席巻するだろう。



生成AIにより作成したパッケージデザインの例

削減できる。期間を大幅に短縮できる。その結果、デザインの開発期間を大幅に削減できる。

■トップが率先してAIを

トップが率先してAIを